

# 日本公共政策学会 会報 No.76 2024年4月

PPSAJ Newsletter Public Policy Studies Association, Japan

1. 日本公共政策学会 2024 年度研究大会は対面形式で開催いたします
2. 2024 年度研究大会開催案内
3. 「公共政策フォーラム 2024 in 会津若松」開催案内
4. 2024 年度理事候補者選考に関するお知らせ
5. 理事会記録（第 141 回）
6. 新入会員紹介
7. 理事会開催のお知らせ
8. 事務局からのお知らせ

## 1. 日本公共政策学会 2024 年度研究大会は対面形式で開催いたします

2024 年 6 月 1 日（土）～2 日（日）開催の 2024 年度研究大会（於：龍谷大学）は対面形式で開催いたします。

詳細は会報や学会サイト等でも後日お知らせします。なお、総会や理事会についてはハイブリット形式で開催予定です。研究大会への皆様のご参加をお待ちしています。

日本公共政策学会会長 中川雅之

## 2. 2024 年度研究大会開催案内

共通テーマ：公共政策と時間

開催場所：龍谷大学・深草キャンパス（京都府）

開催日：2024 年 6 月 1 日（土）・2 日（日）

企画委員：小林悠太（広島大学）、嶋田暁文（九州大学・委員長）、清水唯一朗（慶應義塾大学）、関智弘（熊本県立大学）、田中良弘（立命館大学）、永松伸吾（関西大学）、福本江利子（東京大学）

## 2024 年度研究大会開催趣旨

2024 年度研究大会企画委員長 嶋田暁文（九州大学）

日本公共政策学会 2024 年度研究大会は、2024 年 6 月 1 日（土）・2 日（日）に、龍谷大学・深草キャンパス（京都府）での開催を予定しております。

本大会の共通テーマは、「公共政策と時間」です。「歴史ある古都・京都の地で開催される研究大会にふさわしいテーマとは一体何だろう？」と模索する中でたどり着いたテーマです。

「公共政策を時間との関係で考えてみる」という視点自体は、決して新しいものではありません。しかし、その重要性が再認識されたのは、比較的最近のこのように思います。その最大の契機となったのはピアソン (Paul Pierson) の *Politics in Time: History, Institutions, and Social Analysis* (Princeton University Press, 2004) の公刊でした。ピアソンは、社会的事象を分析する際に、ある瞬間の変数の値や変数相互間の関係性を知るだけでは不十分であり、時間的文脈を考慮に入れる必要があることを指摘し、正のフィードバック過程と経路依存性、物事の起こるタイミングや時間的順序（配列）、長期の時間的射程を持つことの重要性など、それまでバラバラにしか論じられてこなかったことを体系的に論じ、「歴史がどのように重要なのか」を説得的に示すことを通じて、学界に大きなインパクトを与えました。もっとも、「公共政策と時間」というテーマの広がり、これにとどまりません。「いつ評価するか」、「(たとえば復興支援は) いつまで続くのか (続けるべきか)」など、多くの興味深い論点がそこに内包されているのです。今回の研究大会では、そうした大きな広がりのある「公共政策と時間」というテーマを深掘りしてみたいと思います。

初日の共通論題のテーマは、そのものズバリの「公共政策と時間」です。ピアソンの問題提起を正面から受け止め、その視点を見事に生かした研究をものにしてきた 3 名の報告者からのご報告と、思考の壁を軽々と乗り越え斬新な視点を提供してきた討論者によるコメント、それに基づく討論を通じて、ポスト・ピアソンの「公共政策と時間」論を模索してみたいと考えています。

初日の午前、若手報告セッションが 3 つ用意されています。若手研究者の意欲的な報告にご期待いただければと思います。

初日午後から 2 日目にかけては、企画委員会セッション、自由公募セッション、国際交流委員会セッションが準備されています。企画委員会セッションは、「超高齢社会と公共政策—法学の観点から—」、「規制政策の形成と実施」、「公共サービスの安定供給」、「学術と公共政策」、「レジリエンスと公共政策」の計 5 つです。自由公募セッションは、(A) 個人による研究報告の申し込みによる多様な自由論題報告 13 件をグルーピングしたものが 5 つ、(B) 複数名による 1 つのセッションの企画の申し込みによるもの（セッション企画）が「規制産業としての酒類業と地域振興」と「福祉国家フィンランドの創造的進化と方向性」の 2 つで、計 7 つ予定されています。国際交流委員会セッションは、研究大会の共通テーマを強く意識した形で、“Time-Course and Policy Changes” と題して行われます。各セッションで、刺激的な意見交換がなされることを期待しています。

2 日目の共通論題のテーマは、「公共政策学の歴史的アプローチ—歴史から政策をどう捉えるか」です。すでに触れたように、公共政策を研究する上で、その政策の歴史的経緯を検討することが改めて重視されてきています。そうした研究は、政治学、行政学、それぞれが独自の流儀で展開している状況にあります。そこで、本共通論題では、その疎通を図ることで、公共政策研究における新たな歴史的アプローチを模索する機会を提供したいと考えています。

本大会が、登壇者の報告及び活発な意見交換を通じて、公共政策研究の発展に寄与し、学術研究と政策実務の一助となることを願うばかりです。

## 研究大会プログラム (2024年3月20日現在)

(若手セッション・自由応募セッション(企画提案を除く)の司会、討論者は全員が確定次第、ホームページの方にアップしますので、随時、確認するようにしてください)

### 第1日目 2024年6月1日(土)

#### 9時～ 入室開始

#### 9時30分～11時30分 若手セッション

##### <若手セッションⅠ>

司会：関智弘（熊本県立大学）

報告者①：山之内真歩（神戸大学大学院法学研究科）「**地方政府がもたらす福祉政策実施の多様性—現場職員の裁量と資源に注目して—**」

討論者①：白取耕一郎（大谷大学）

報告者②：酒井秀翔（東京大学大学院教育学研究科）「**都道府県における教育委員の属性分析**」

討論者②：卯月由佳（国立教育政策研究所）

##### <若手セッションⅡ>

司会：福本江利子（東京大学）

報告者①：丸林靖尚（早稲田大学大学院政治学研究科）「**地域経済支援官民連携組織のネットワーク構造**」

討論者①：風間規男（同志社大学）

報告者②：可児卓馬（龍谷大学政策学研究科）「**非営利組織への遺贈寄付希望者のアイデンティティと情報ニーズの分析**」

討論者②：柳澤智美（城西大学）

##### <若手セッションⅢ>

司会：小林悠太（広島大学）

報告者①：曹可虢（ソウ カコウ）（大阪大学国際公共政策研究科）「**The U.S. Sanction on the Xinjiang Uyghur Autonomous Region — A Success or Not?**」

討論者①：佐藤丙午（拓殖大学）

報告者②：助川達也（東京大学大学院工学系研究科）「**自治体職員の場づくり参画に向けた一考察**」

討論者②：役重眞喜子（岩手県立大学）

11時35分～12時15分 総会 I

12時20分～12時50分 理事会

12時15分～13時 昼休み

13時～15時 個別テーマセッション①

<企画委員会セッション I：超高齢社会と公共政策—法学の観点から—>

司会：田中良弘（一橋大学）

報告者①：北村喜宣（上智大学）「超高齢社会における行政法学の課題—意思能力を欠く者に対する行政対応をめぐる論点—」

報告者②：宮森征司（新潟大学）「超高齢社会における公私協働—自治会の役割と法的課題—」

報告者③：橋口祐介（甲南大学）「超高齢社会における行政法と民事法の交錯—墓地法制を題材に—」

討論者①：馬場健（新潟大学）

討論者②：釧持麻衣（関東学院大学）

<企画委員会セッション II：規制政策の形成と実施>

司会者：関智弘（熊本県立大学）

報告者①：早川有紀（関西学院大学）“Changes in Japan’s regulations on economic activity during the COVID-19 pandemic: Amendments to the Act on Special Measures for Pandemic Influenza and New Infectious Diseases Preparedness and Response. (仮)”

報告者②：成鎮宇（京都大学）「組織編制と規制実施—自治体調査データを用いた指導監査の計量分析 (仮)」

報告者③：大田衛（同志社大学）「規制政策における EBPM と実施研究：規制執行過程のゲーム理論分析の試みから (仮)」

討論者：前田貴洋（琉球大学）

<自由公募セッション I >

司会：福本江利子（東京大学）

報告者①：鶴飼康東（関西大学名誉教授）「科学研究費助成事業審査システムの改革は成功したのか：動学的パネルデータ分析」

討論者①：浅野耕太（京都大学）

報告者②：黒河昭雄（神奈川県立保健福祉大学）「研究開発活動を通じた科学的助言の態様—「政策のための科学」の実践」

討論者②：白川展之（新潟大学）

報告者③：田川寛之（福島学院大学）・山本英弘（筑波大学）「デジタル化に直面する有権者の政治意識と社会受容性—デジタル化と政治に関するアンケート調査の分析にもとづいて—」

討論者③：井島慎一（会津若松市）

## <自由公募セッションⅡ>

司会：小林悠太（広島大学）

報告者①：高橋勇介（愛媛大学）「労働環境と労働者の主観的厚生についての考察—働き方改革との関係から—」

討論者①：安藤加菜子（京都大学）

報告者②：松村智史（名古屋市立大学）「多様化・個人化時代における国家公務員像に関する一考察—職員へのインタビュー調査からみえる課題を踏まえて—」

討論者②：手塚洋輔（大阪公立大学）

報告者③：片岡修平（信州大学）「企業から見た経営戦略上、政府内コンテキストや業界構造を知ることの価値（政策人材の重要性）の再評価」

討論者③：間中健介（茨城大学）

## <国際交流委員会セッション：Time-Course and Policy Changes> \*対面開催

司会者：三田妃路佳（宇都宮大学）

報告者①：Xu, Chengwei（シユウ チェンウエイ）（国際大学）“Chronological changes of Chinese bureaucracy: How did the government's control over Chinese bureaucracies change in the past 20 years?（仮題）”（中国官僚制度の変遷：政府の官僚統制は過去20年でどのように変化したのか？）

報告者②：Chi, Vu Le Thao（ヴ レ タオ チ）（慶應義塾大学）“Aging Society and Challenges to Vietnam's Social Insurance”

報告者③：Lee Yoonseock（イ ユンソク）（Keimyung University）“The Impact of Zoning Policy on Supermarkets in Korea”

討論者①：篠原舟吾（慶應義塾大学）

討論者②：中村絢子（国際大学）

## 15時15分～17時15分 <共通論題Ⅰ「公共政策と時間」>

司会：嶋田暁文（九州大学）

報告者①：北山俊哉（関西学院大学）「いかにして公共政策が、政治経済の発展に影響を与えるか」

報告者②：西岡晋（東北大学）「公共政策学の「時間論的転回」(仮)」

報告者③：前田健太郎（東京大学）「「一周遅れ」の公共政策」

討論者：金井利之（東京大学）

## 17時30分～18時10分 総会Ⅱ

## 18時10分～18時30分 学会賞授与式

## 授与式が終了し次第 懇親会（1時間程度）

## 第2日目 2024年6月2日(日)

8時30分～ 入室開始

### 9時～11時 個別テーマセッション②

#### <企画委員会セッションⅢ：公共サービスの安定供給>

司会：小林悠太（広島大学）

報告者①：大島隆太郎（龍谷大学）「公共サービスの提供に関わる集権的制度化と実施人員の問題：戦前日本の小学校のシステムから（仮）」

報告者②：鷹咲子（跡見女子学園大学）「食材費高騰下の学校給食の課題（仮）」

報告者③：小林大祐（大東文化大学）「ドイツの地域公共交通をめぐる供給構造（仮）」

討論者：中嶋学（常葉大学）

#### <自由公募セッションⅢ>

司会：永松伸吾（関西大学）

報告者①：押立貴志（東京交通短期大学）「令和6年能登半島地震の避難所に対する自治体連携の実効性の考察－災害対策本部資料からの分析速報－」

討論者①：佐々木一如（常盤大学）

報告者②：小野恵子（国際基督教大学）「災害と地理オープンデータ：2024年能登半島地震ケーススタディ」

討論者②：永松伸吾（関西大学）

#### <自由公募セッションⅣ>

司会：関智弘（熊本県立大学）

報告者①：岩崎和隆（神奈川県）「岐路に立つ官公庁のシステム」

討論者①：河昇彬（韓国外国語大学日本研究所）

報告者②：寺迫剛（ノースアジア大学）「縮小する秋田市におけるコンパクトシティ政策の揺らぎ－市郊外開発にむけた基本計画の策定過程－」

討論者②：青木一益（富山大学）

#### <自由公募セッションⅤ（セッション企画）：規制産業としての酒類業と地域振興>

司会：松原聡（東洋大学）

報告者①：齊藤由里恵（中京大学）「酒税の改正と酒類需要」

報告者②：藤井大輔（埼玉学園大学）「酒類業の生産・流通における公的規制」

報告者③：植野一芳（大東文化大学）「酒類業の振興策と地域」

討論者：小澤太郎（慶應義塾大学）

## 11時10分～13時10分 個別テーマセッション③

### <企画委員会セッションⅣ：学術と公共政策>

司会：福本江利子（東京大学）

報告者①：杉谷和哉（岩手県立大学）「ゾンビ・アイデア—学術と公共政策に関する、ある一側面—」

報告者②：白川展之（新潟大学）「学問の自由とミッション指向のイノベーション政策：科学技術・学術の「・（なかぐろ）」をめぐる政策過程」

報告者③：村上裕一（北海道大学）「科学アカデミーと科技行政の「両輪」性について（仮）」

討論者①：佐野亘（京都大学）

討論者②：南島和久（龍谷大学）

### <企画委員会セッションⅤ：レジリエンスと公共政策>

司会：永松伸吾（関西大学）

報告者①：石田祐（関西学院大学）「地域のレジリエンスに貢献するNPOをいかに支えるか？」

報告者②：白石克孝（龍谷大学）「地域レジリエンス論が共創的なローカルガバナンスに与えるインパクト（仮）」

報告者③：永松伸吾（関西大学）「災害レジリエンス概念の発展と公共政策への含意」

討論者①：清水美香（京都大学）

討論者②：佐々木一如（常盤大学）

### <自由公募セッションⅥ>

司会：田中良弘（一橋大学）

報告者①：小西敦（静岡県立大学）「新型コロナウイルス感染症の都道府県間「格差」とその原因」

討論者①：辻陽（近畿大学）

報告者②：木村高宏（金沢大学）「ふるさと納税にみる納税者意識の検討」

討論者②：岡本哲和（関西大学）

報告者③：箕輪允智（東洋大学）「北アイルランドにとっての地方分権（Devolution）：コミュニティの分断と権力共有、財政的政府間関係の視点から」

討論者③：山崎幹根（北海道大学）

### <自由公募セッションⅦ（セッション企画）：福祉国家フィンランドの創造的進化と方向性>

司会者：秋朝礼恵（東海大学）

報告者①：柴山由理子（東海大学）「「適応」の観点から見た福祉国家フィンランド」

報告者②：藪長千乃（東洋大学）「フィンランドにおける福祉供給構造改革と21世紀の創造的変化」

報告者③：徳丸宜穂（関西大学）「福祉国家改革とイノベーション ～「北欧モデル」はイノベーションをいかに促すか～」

討論者①：芳賀和恵（早稲田大学）

討論者②：北井万裕子（松山大学）

13時10分～14時10分 昼休み

14時10分～14時25分 若手最優秀報告表彰式

14時25分～16時25分 <共通論題Ⅱ：公共政策学の歴史的アプローチ—歴史から政策をどう捉えるか>

司会：清水唯一朗（慶應義塾大学）

報告者①：徳久恭子（立命館大学）「政治過程論の立場から：家族をめぐる言説の政治を事例に」

報告者②：辻陽（近畿大学）「比較政治学の立場から：地方政治分析を事例に」

報告者③：林昌宏（愛知学院大学）「行政学の視点から：現代日本の港湾行政を事例に」

討論者①：曾我謙悟（京都大学）

討論者②：池田真歩（東京都立大学）

## ■大会開催のご案内

2024年度研究会実行委員会  
委員長 南島和久

### 【大会開催日時】

2024年6月1日（土）、2日（日）（※ 龍谷大学では同日程で別の学会も開催されますし、京都は宿泊場所の確保が厳しい情勢にあります。早めの宿泊先の確保をおすすめします。）

### 【研究会会場】

龍谷大学深草キャンパス和顔館地下（大会受付は1階に設置予定）

### 【会場への交通アクセス】

[https://www.ryukoku.ac.jp/about/campus\\_traffic/traffic/t\\_fukakusa.html](https://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/traffic/t_fukakusa.html)

（最寄駅は、(1) 京阪「龍谷大前深草」、(2) JR 奈良線「稻荷駅」、(3) 地下鉄烏丸線「くいな橋」）

深草キャンパスのご案内（[https://www.ryukoku.ac.jp/about/campus\\_traffic/fukakusa.html](https://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/fukakusa.html)）

### 【大会特設 HP】

大会特設 HP の URL は以下の URL です。

<https://sites.google.com/view/2024ppsaj>

特設 HP には、大会案内、レジュメ集、フルペーパーを掲載します。大会プログラムも特設 HP を参照するか、事前のダウンロードにてご用意いただくか、本会報をご持参いただきますようお願いいたします（フルペーパーは5月下旬よりダウンロード可：パスワードは「       」）

（※上記のパスワードは学会 HP に掲載しません。またアップロードされた会報からも削除されます。したがって、「会報を持参する」などのご対応をお願いします。なお、龍谷大学は eduroam での接続は可能ですが、会場の環境は保証できかねますので、事前のダウンロード・印刷を推奨いたします。総会資料（総会 I）はご用意します。）

### 【懇親会について】

会 費 2000 円を予定（会場にてお支払いいただく予定）

会 場 深草キャンパス成就館1階（初日の土曜日に研究会終了後に開催予定）



### 【大会参加申し込み】

研究大会および総会への参加は後日 ML にてご案内します。案内開始後 5 月 31 日（水）までにお申し込み下さい。事前申し込み無しでの当日参加も可能ですが、参加者数の事前把握にご協力をお願いします。

### 【報告者へのお願い】

報告者は、会場に用意するコネクタに各人の PC を接続して報告していただく予定です。

### 【託児サービス（試行）】

試行的に託児所を設置します。対象は会員の方ですが、登壇者・先約者が優先となります。4 月上旬の ML にてご案内しておりますので、ご確認ください。空枠の有無の確認は下記まで。

### 【連絡先】

全国大会 2024 大会実行委員会事務局 龍谷大学政策学部 南島和久研究室  
najima (at) policy.ryukoku.ac.jp（「at」は「@」にご変更ください）

## 3. 公共政策フォーラム 2024 in 会津若松 開催案内

2024 年度公共政策フォーラム委員会  
委員長 田川 寛之

### （1）おことわり

会津若松市を開催事務局とする実行委員会の発足は新年度の 4 月中を予定しております。本フォーラムの最終的な開催テーマおよび開催要領は、発足後の実行委員会による決議を経たのち、大型連休明けとなる 5 月第 2 週ごろの公開を見込んでおります。

あらかじめご承知おきください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### （2）テーマ設定に関する現時点のご案内

（フォーラム開催の意図）

会津若松市は第 7 次総合計画（2017～2026 年度）に基づいてまちづくりを進めているところですが、現在、2027 年度にスタートする新たな総合計画を策定するための入口に立っています。次期総合計画は 2026 年度の決定を見通して、それに先立つ 2024 年度から 2025 年度にかけて具体的内容の検討と策定を行うにあたって、幅広い世代の市民からさまざまな声や意見を得、そのプロセスへ反映させる必要があります。

総合計画は自治基本条例にもとづく最上位計画であり、将来にわたる地域社会の持続可能性を計画に確保することが重要です。そのためには、若者や子育て世代に選ばれるまち、彼らを引き込むことのできるまちを目指すことが大きな課題となりますし、その際、外部の視点を活かすことも不可欠となります。そこで、本フォーラムを通して、必ずしも本市の在住ではない若者であるみなさんから、大学生ならではの柔軟かつ大胆なアイデアをご提供いただけないでしょうか。会津若松市の地勢や課題をふまえながらみなさんの生み出した新たな政策提言を基礎的な資料と位置づけ、次期総合計画づくりの市民的議論に活用することにより、市内外から広く若者に選ばれるまちづくりを目指したく考えます。

### (会津若松市の市勢)

会津若松市は福島県西部の会津盆地に位置し、東京から約 300km、福島市から約 100km の距離にある人口約 11.2 万人（2024 年 1 月現在）の都市です。市域面積 382.99 km<sup>2</sup>のうち約 45%を山林が占め、市街地は市の北西部に広がります。会津藩の城下町であり、鶴ヶ城を代表に古い商店や蔵、庭園などの名所旧跡が多く残ります。また、猪苗代湖や磐梯山といった豊かな自然から、冬には雪を利用したイベントが開催されるほか、東山や芦ノ牧といった温泉にも恵まれ、年間を通じて多くの観光客が来訪します。

夏は蒸し暑く、冬はまとまった降雪があるなど四季の移ろいがはっきりしており、米どころ・水どころとしても知られ、米の生産や酒造が盛んです。その他、会津漆器や会津木綿などの伝統工芸が今もなお産業として息づいているほか、日本初のコンピュータ専門大学である会津大学の存在を外すこともできません。そして、近年ではスマートシティの取り組みが市の代名詞となりつつあり、ICT 関連企業の立地を新たな産業創出の起爆剤とするべく様々な努力を重ねています。

とはいえ、全国の地方都市と同様、人口減少による担い手の不足が地域社会の未来を不透明なものにしているという現実もあります。高速道路を除けば、鉄道交通や航空輸送の広域ネットワークから外れているため、高校や大学への進学に伴う若者の転出抑制、新たな若者や子育て世代の誘致、Uターンの促進など担い手の確保策を進めるにしても、ネットワークに組み込まれた他の都市とは異なる工夫が必要となっています。

### (3) 会場

会津大学

<https://u-aizu.ac.jp/>

〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀

TEL 0242-37-2500 (代表)

※開催にかかるお問い合わせは事務局へお願いいたします。

### (4) 開催日

2024 年 11 月 9 日 (土)・10 日 (日)

### (5) 懇親会について

2024 年度は、学生や教員同士の相互交流を促す観点から、会津大学学生食堂を利用し、交流会として催す方向です。

日時等の詳細は改めてお知らせいたします。

### (6) 政策コンペの詳細

#### A) 開催要領の公開

- ・ 学会ウェブサイトおよび会津若松市ウェブサイトにて、大型連休明けの 5 月 7 日 (火) 頃に公開いたします。
- ・ 参加登録は、開催要領の公開後から受け付けます。

#### B) 参加登録

- ・ 応募は 1 ゼミ 1 チームとします。

- ・ 参加できる学生は学部生に限ります（大学院生は不可）。
- ・ 参加を希望するチームは「公共政策フォーラム参加申込書」を学会ウェブサイトからダウンロードし、事務局へご提出ください。
- ・ 提出方法は、電子メールによることとする予定です。
- ・ 参加登録の締め切りは6月下旬を予定しています。

#### C) 参加登録後の対応（発表テーマ、現地調査等）

- ・ 各チームの発表テーマの設定に関連し、開催意図との関係を確認するため、参加登録後に事務局から各チームへおたずねする場合があります。
- ・ 現地調査を歓迎します。ただし①調査時期、②希望調査内容、③発表テーマと調査の関連などを概ねとりまとめ、参加登録後できるだけ早めに事務局へご相談ください。
- ・ 本フォーラムに関し、市各部局や市内各種団体や組織への調査等アプローチをご希望の場合、それらへ直接お合わせいただく前に、まず事務局へご相談ください。

#### D) コンペ審査資料の提出

以下の期日までにご提出いただきますので、遅れのないようご準備ください。

- ・ **審査用論文**
  - （※切）2024年10月18日（金）
  - 1万字程度（図表含む）の論文を事務局あてにご提出ください。
  - 論文はWord形式とし、wordファイルのデータでご提出ください。
  - 提出方法は、電子メールによることとする予定です。
  - 提出後に校正を行い、10月25日（金）に校了のうえ確定版とします。
- ・ **当日発表資料の提出**
  - （※切）2024年11月1日（金）
  - 発表スライドを事務局あてにご提出ください。
  - スライドはパワーポイント形式とし、pptファイルのデータでご提出ください。
  - 提出方法は、電子メールによることとする予定です。

#### (7) 宿泊

宿泊施設については、各自でご手配くださいますようお願いいたします。

（参考）会津若松観光ナビ

<https://www.aizukanko.com/>

#### (8) 交通アクセス

- ・ 会津若松市まで
  - （鉄道） 東北新幹線にて郡山到着ののち磐越西線へ乗り換え、会津若松にて下車。
  - （高速バス） 東北新幹線にて郡山到着ののち高速バスへ乗り換え、会津若松にて下車。
  - （自動車） 東北自動車道郡山ジャンクションにて磐越自動車道（新潟方面）へ向かい、会津若松インターにて一般道へ。

※いずれの手段も、郡山～会津若松間の所要時間は1時間30分ほどです。

- ・ 市内から開催会場（会津大学）まで

(徒歩) 会津若松駅から徒歩で 30 分程度。

(タクシー) 会津若松駅から 10 分程度。

(自動車) 会津若松インターから一般道を経由して 5 分程度。

(乗合バス) 若松駅前から会津大学前バス停もしくは郷の原バス停にて下車後徒歩。  
詳細は下記をご覧ください。

※平日ダイヤと休日(土日祝)ダイヤが異なります。以下は休日午前中ダイヤです。

- ・ 会津大学前バス停にて下車(下車後、会場まで徒歩 3 分)

(ゆき: 中央病院・居合団地方面行き)

若松駅前 8:15 発	会津大学前 8:25 着
若松駅前 9:10 発	会津大学前 9:20 着
若松駅前 10:35 発	会津大学前 10:45 着

(かえり: 若松駅行き)

会津大学前 13:37 発	若松駅前 13:50 着
会津大学前 14:37 発	若松駅前 14:50 着
会津大学前 18:02 発	若松駅前 18:15 着

- ・ 郷の原(ごうのはら)バス停を利用(下車後、バス停から会場まで徒歩 10 分程度)

(ゆき: 高坂行き)

若松駅前 7:48 発	郷の原 7:54 着
若松駅前 11:46 発	郷の原 11:52 着

(ゆき: 松長団地方面行き)

若松駅前 11:40 発	郷の原 11:46 着
--------------	-------------

(かえり: 若松駅ゆき)

郷の原 16:18 発	若松駅前 16:27 着
-------------	--------------

## (9) 実行委員会事務局(予定)

会津若松市企画政策部企画調整課

福島県会津若松市追手町 2 番 41 号

TEL: 0242-39-1201

E-Mail: 開催要領公開時にお知らせいたします。

## (10) 備考および要領変更時の告知

- ・ 上記(6)の詳細は、参加登録チームに別途ご連絡します。
- ・ なお、不切等を含む開催要領の変更、また、追加情報などをお知らせする場合、学会ウェブサイトおよび会津若松市ウェブサイトに掲載いたします。その際にご確認をお願いいたします。

## (11) 参考情報

令和 5 年度会津若松の市勢(会津若松市議会事務局)

<https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2023090100021/>

会津若松市第 7 次総合計画(～2026 年度まで)

<https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2016110400058/>

第7次総合計画の政策分野とSDGsの目標の関係

[https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2016110400058/file\\_contents/sdgs.pdf](https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2016110400058/file_contents/sdgs.pdf)

福島県・会津地方振興局ホームページ

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01240a/>

会津若松市の策定している個別計画ウェブサイト（「各個別計画の概要」を参照）

<https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2012122100023/>

- 1 第4次会津若松市国土利用計画（2007年度～）
- 2 会津若松市公共施設等総合管理計画（2017年度～2026年度）
- 3 会津若松市公共施設マネジメント基本方針（2014年度～）
- 4 会津若松市鶴ヶ城周辺公共施設利活用構想（2010年度～）
- 5 会津若松市市民協働推進指針（2014年度～）
- 6 第5次会津若松市男女共同参画推進プラン（2019年度～2023年度）
- 7 第4次会津若松市ユニバーサルデザイン推進プラン（2022年度～2026年度）
- 8 会津若松市・河東町新市建設計画（2005年度～2030年度）
- 9 会津若松市地域公共交通計画（2022年度～2026年度）
- 10 山村振興計画（2007年度～）
- 11 行政サービスの向上と財政基盤の強化に向けた取組（2022年度～2026年度）
- 12 公債費負担適正化計画（単年度）
- 13 中期財政見通し（単年度）
- 14 第3次会津若松市人材育成基本方針（2018年度～）
- 15 会津若松市人材育成推進プラン（2018年度～2022年度）
- 16 第3次会津若松市定員管理計画（2015年度～2019年度）
- 17 第3期会津若松市特定事業主行動計画（2015年度～2019年度）
- 18 子育て・女性活躍推進に関する会津若松市特定事業主行動計画（2020年度～2024年度）
- 19 会津若松市情報化推進計画（2021年度～）
- 20 会津若松市第2期環境基本計画（2014年度～2023年度）
- 21 会津若松市国民保護計画
- 22 会津若松市地域防災計画
- 23 会津若松市水防計画
- 24 第11次会津若松市交通安全計画（2021年度～2025年度）
- 25 第2期会津若松市空家等対策計画（2021年度～2025年度）
- 26 会津若松市住居表示整備事業基本計画（2009年度～）
- 27 会津若松市一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）（2016年度～2025年度）
- 28 第2期会津若松市地域福祉計画（2021年度～2025年度）
- 29 会津若松市障がい者計画（2021年度～2023年度）
- 30 第6期会津若松市障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画（2021年度～2023年度）
- 31 会津若松市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画（2021年度～2023年度）
- 32 第2期会津若松市子ども・子育て支援事業計画（2020年度～2024年度）

- 33 第3期会津若松市国民健康保険事業運営健全化指針（2018年度～2023年度）
- 34 第2次健康わかまつ21計画（2013年度～2023年度）
- 35 第2期会津若松市食育推進計画（2021年度～2025年度）
- 36 会津若松市湊地区給水施設等整備計画（2014年度～2018年度）
- 37 第3次会津若松市観光振興計画（2017年度～2026年度）
- 38 史跡若松城跡総合整備計画（1996年度～）
- 39 会津若松市中心市街地活性化基本計画（2014年度～2022年度）
- 40 会津地域基本計画（2017年度～2021年度）
- 41 第3次会津若松市食料・農業・農村基本計画（2017年度～2026年度）
- 42 第4次あいづわかまつ地産地消推進プラン（2022年度～2026年度）
- 43 会津若松農業振興地域整備計画（2018年度～）
- 44 会津若松市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想（2016年度～2020年度）
- 45 会津若松市公設地方卸売市場経営展望（2019年度～2028年度）
- 46 会津若松市森林整備計画（2012年度～2021年度）
- 47 会津若松市都市計画マスタープラン（2010年度～2030年度）
- 48 会津若松市景観計画（2016年度～）
- 49 会津若松市耐震改修促進計画（2021年度～2030年度）
- 50 会津若松市公園施設長寿命化計画（2015年度～2024年度）
- 51 会津若松市公共下水道計画（2014年度～2020年度）
- 52 会津若松市下水浄化工場長寿命化計画（2013年度～2017年度）
- 53 会津若松市下水道管長寿命化計画（2016年度～2025年度）
- 54 会津若松市交通バリアフリー基本構想（2003年度～）
- 55 会津若松市冬期バリアフリー基本構想（2003年度～）
- 56 会津若松市橋梁長寿命化修繕計画（2016年度～2025年度）
- 57 会津若松市公営住宅等長寿命化計画（2021年度～2030年度）
- 58 会津若松市城前団地建替計画（2011年度～2030年度）
- 59 会津若松市教育大綱・教育振興基本計画（2017年度～2026年度）
- 60 会津若松市教育行政推進プラン（単年度）
- 61 会津若松市学校施設耐震化推進基本方針（2007年度～）
- 62 あいづっこ学力向上推進計画（2017年度～2026年度）
- (62)\*会津若松市教育ICT推進プラン（2022年度～2026年度）\*サイト表記のとおり。
- 63 会津若松市スポーツ推進基本計画（2017年度～2026年度）
- 64 会津若松市生涯学習推進ビジョン（2015年度～）
- 65 第三次会津若松市子ども読書活動推進計画（2021年度～2025年度）
- 66 会津若松市水道事業ビジョン（2016年度～2025年度）

## 4. 2024年度理事候補者選考に関するお知らせ

理事候補者推薦委員長 宮脇昇

次期理事の選出は、6月の総会において行われますが、2023年度総会（2023年6月14日に開催）で承認されました「理事選任に関する総会申し合わせ」に従いまして、総会開催前にあらかじめ会員に対して、総会で推薦する予定の理事候補者のリストを通知することになっております。委員会として、理事選出規程に基づいて理事候補者の推薦のための作業を終え、理事候補者の一覧を別紙で同封いたしました。ご意見等がございましたら、下記の理事候補者推薦委員長あてに4月30日までにメールにてご連絡くださいますようお願い申し上げます。

宮脇 昇（立命館大学）

E-mail : [miyawaki@sps.ritsumei.ac.jp](mailto:miyawaki@sps.ritsumei.ac.jp)

## 5. 理事会記録(第141回)

開催日時：2024年1月20日（土）10時30分～11時50分

会場：Zoom会議

出席者：秋吉貴雄、磯崎初仁、大野智彦、加瀬武之、勝田美穂、河村和徳、菊地端夫、小田切康彦、小松崎 俊作、肥沼位昌、小西敦、佐藤丙午、嶋田暁文、焦従勉、関智弘、田口一博、谷口将紀、辻陽、手塚洋輔、朽尾真一、中川雅之、南島和久、西岡晋、西山慶司、野崎祐子、村上裕一、的場信敬、三田妃路佳、宮脇昇、祐野恵

委任欠席者：清水唯一朗、鈴木潔、野田遊、砂金祐年

欠席者：宇野二郎、永田尚三

### 報告事項

#### 1. 2024年度研究大会企画について（2024年度研究大会企画委員長）

・2024年度研究大会企画委員長の嶋田暁文理事から、大会のタイムスケジュール、企画公募の開始、企画委員会による企画内容の案について報告がされた。

・共通論題

<共通論題I「公共政策と時間」> 担当者：嶋田暁文（九州大学）

報告者：北山俊哉（関西学院大学）、西岡晋（東北大学）、前田健太郎（東京大学）

討論者：金井利之（東京大学）

司会：嶋田暁文（九州大学）

＜共通論題Ⅱ「公共政策学の歴史的アプローチ—歴史から政策をどう捉えるか」＞ 担当者：清水唯一朗（慶應義塾大学）

報告者：徳久恭子（立命館大学）、辻陽（近畿大学）、林昌宏（愛知学院大学）

討論者：曾我謙悟（京都大学）、池田真歩（北海学園大学、非会員）

司会：清水唯一朗（慶應義塾大学）

・企画委員会セッション

【6月1日13時～15時】に割り当てるセッション

＜企画委員会セッション①「超高齢社会と公共政策—法学の観点から—」＞ 担当者：田中良弘（立命館大学）

報告者：北村喜宣（上智大学）、宮森征司（新潟大学）、橋口祐介（甲南大学）

討論者：馬場健（新潟大学）、釧持麻衣（関東学院大学）

司会：田中良弘（立命館大学）

＜企画委員会セッション②「規制政策の形成と実施」＞ 担当者：関智弘（熊本県立大学）

報告者：早川有紀（関西学院大学）、成鎮宇（京都大学）、大田衛（同志社大学）

討論者：前田貴洋（琉球大学）

司会者：関智弘（熊本県立大学）

【6月2日11時05分～13時05分】に割り当てるセッション

＜企画委員会セッション③「学術と公共政策」＞ 担当者：福本江利子（東京大学）

報告者：白川展之（新潟大学）、杉谷和哉（岩手県立大学）、村上裕一（北海道大学）

討論者：佐野亘（京都大学）、南島和久（龍谷大学）

司会：福本江利子（東京大学）

【6月2日9時～11時もしくは11時05分～13時05分】に割り当てるセッション

＜企画委員会セッション④「公共サービスの安定供給」＞ 担当者：小林悠太（東海大学）

報告者：大島隆太郎（京都大学）、鷹咲子（跡見女子学園大学）、小林大祐（大東文化大学）

討論者：中嶋学（同志社大学）

司会：小林悠太（東海大学）

＜企画委員会セッション⑤「レジリエンスと公共政策」＞ 担当者：永松伸吾（関西大学）

登壇者未定

\*国際交流委員会セッション設置については調整中

## 2. 2023年度公共政策フォーラムについて（事務局）

・2023年度公共政策フォーラム委員長の田村秀会員に代わり、菊地端夫事務局長より、「公共政策フォーラム2023 in 信州上田」が11月18日、19日に無事に開催されたことが報告された。中川会長から、開催へ尽力された田村委員長をはじめ上田市関係者へ感謝が伝えられた。



### 3. 2024 年度公共政策フォーラムについて（事務局）

・2024 年度公共政策フォーラム委員長の田川寛之会員に代わり、菊地端夫事務局長より、前回理事会後に「公共政策フォーラム 2024 in 会津若松」の日程と開催会場が 2024 年 11 月 9 日（土）・10 日（日）、会津大学（講堂、大講義室、中講義室、食堂）に決定したことが報告された。

### 4. 『公共政策研究』（第 23 号）について（2023 年度年報委員長）

・2023 年度年報委員長の南島和久理事より、『公共政策研究』（第 23 号）が最終校正と発送作業の遅れにより 1 月 22 日の週に会員へ郵送されることがお詫びとともに報告された。

### 5. 『公共政策研究』（第 24 号）について（2024 年度年報委員長）

・2024 年度年報委員長の手塚洋輔理事から、前回理事会以降、年報委員会において特集テーマの選定と執筆依頼が行われ、特集テーマを「新しい政策手法」とし、各分野の 7 名に執筆依頼を行う予定であること、書評対象書籍の選定と及び執筆依頼を 2 月以降に行う予定であることが報告された。

・あわせて、前年度の年報委員長との引継ぎの際の検討事項として、年報の巻頭言の扱いについて、近年は巻頭言の執筆者の選定が難しくなっていることから、今号に限っては巻頭言を設けない提案がなされ、議論の結果、今号での扱いについて了承された。

### 6. 2024 年度学会賞選考状況について（学会賞選考委員長）

・学会賞選考委員長の河村和徳副会長より、1 月 17 日に応募を締め切り、これより選考が行われることが報告された。

### 7. 2023 年度研究大会決算追加報告（事務局）

・2023 年度研究大会実行委員長の藤本吉則会員に代わり、菊地端夫事務局長より 2023 年度研究大会決算の追加報告が行われた。前回理事会報告後、福島県・福島市からのコンベンション補助金が合計 25 万円交付され、学会側の経理処理として費用（大会実行委員会への支出）のマイナスとして計上したこと、その結果、今年度の大会に係る支出は 743,091 円となり、当初予算 90 万円を下回る形となったことが報告された。

### 8. 大学コンソーシアム京都（2023 年 12 月 17 日）の表彰について（中川会長）

・中川会長より、2023 年 12 月 17 日に第 19 回京都から発信する政策研究交流大会授賞式に参加し、公共政策学会賞と副賞の授与を行ったことが報告された。

### 9. 公共政策研究 22 号の J-Stage への掲載について（事務局）

・菊地端夫事務局理事より、発刊 1 年が経った公共政策研究 22 号の J-Stage 掲載をすすめる予定であることが報告された。

### 10. 理事候補者推薦委員会の活動状況について（理事候補者推薦委員長）

・理事候補者推薦委員長の宮脇理事より、推薦委員会にて推薦規程に基づき候補者の検討が行われており、今後、4 月の会報に新規理事候補者の一覧を同封し会員の意見聴取の機会を設けること、その後、

5月11日土曜を現状の予定として予備会議を開催し、最終的には6月の総会で新理事候補者の提案が行われることが報告された。

## 11. 学会 HP リニューアル検討状況について

- ・菊地端夫事務局長より、学会 HP リニューアルの検討状況について、新規 HP 作成依頼のための仕様の検討、旧 HP データの扱い、公開スケジュールなどが報告された。
- ・公開スケジュールについては、作成期間を考慮し来年度の研究大会以降となる見込みであること、そのため2024年度研究大会については今年度と同様に大会 HP の作成と学会 HP へのリンク掲載が必要なことが報告された。
- ・あわせて、新規 HP の運用にあたっては他学会のように主に HP 担当の幹事を事務局長の下に置くことについて検討していることが報告された。

## 12. その他

- ・中川雅之会長から、例年4月下旬に発行をしている次の会報について、来年度は会員への会報送付にあわせて理事候補者名簿を同封し意見聴取の期間を置く必要があるため、発送時期が前倒しとなり原稿の締め切りが早まる予定であること、あわせて会報に載せる大会内容の確定のため必要に応じて臨時のメール審議による理事会が開催される可能性があることが報告された。

## 審議事項

### 13. 2024年度年研究大会について（2024年度研究大会実行委員長）

- ・2024年度研究大会実行委員長の南島和久理事より、会場を龍谷大学深草キャンパス和顔館地下（地下1階及び地下2階）とし、また懇親会については会費2千円で簡素な形で実施することが提案され承認された。
- ・あわせて、同日に龍谷大学にて参加500人規模の刑法学会が開催される予定であり、刑法学会側から託児所の共同手配についての打診があり、設置する場合は20万円程度の予算となること、学会からの大会実行委員会予算の範囲に収まる見込みであることが紹介され、託児所の設置について提案がされた。審議の結果、試行的実験的な措置として実施することが承認された。
- ・そのほか、会員の早期の宿泊手配についての案内、昼食の問題が生じる可能性があることから昼食持参の奨励の案内などをすすめていくことが報告された。
- ・前回理事会で実行委員長一任となっていた実行委員会の人選について、以下のメンバーとなることが報告された。

【大会実行委員会】\*五十音順、龍谷大学政策学部教員会員。

- ・今里佳奈子、白石克孝、只友景士、南島和久（理事）、的場信敬（理事）

### 14. 国際学会（IWPP4）・若手報告者派遣助成について（国際交流委員長）

- ・2023年度国際交流委員長の三田妃路佳理事より、2024年6月にメキシコ・グアダハラで開催予定のIWPP4で研究報告を行う若手研究者の会員に対する若手報告者派遣助成について、応募者がいなかったことが報告され承認された。

## 15. 国際文献社との 2024 年度契約について

・菊地端夫事務局長より、学会事務を委託している国際文献社との契約を 2024 年度も更新したいとの提案があり、審議の結果、承認された。

## 16. 個人会員入会申請時の押印の廃止について

・菊地端夫事務局長より、現在、個人会員の入会は申請書をダウンロードし申請者と推薦者の押印が必要なため郵送による申請が行われているが、押印を廃止し申請者が申請書内に記した推薦者のメールアドレスを CC に入れて会員管理事務局へメール添付で申請する方式への変更が提案され、承認された。

## 17. 会員移動について

・菊地端夫事務局長より、6 名の入会申請、15 名の退会申請があったとの報告がなされ、審議の結果、了承された。  
・理事会後の会員数は、個人会員が 925 名、団体会員が 5 団体となった。

## 18. TASPAA (Taiwan Association for School of Public Administration and Affairs : 台湾公共行政與公共事務系所聯合會) との交流検討について

・菊地端夫事務局長より、足立幸男元会長長経由で、台湾の TASPAA から日本公共政策学会との交流関係強化についての申し出があり、執行部で検討した結果、交流について検討していくことが提案され、審議の結果、承認された。

## 6. 新入会員紹介

### 第 141 回理事会で承認された新入会員

6 名の方が新規に入会されました。

## 7. 総会・理事会開催のお知らせ

### 次回総会 (I、II) 開催予定

・開催日時：2024 年 6 月 1 日 (土) 11 時 35 分～12 時 15 分 (総会 I 旧執行部の下で)  
17 時 30 分～18 時 10 分 (総会 II 新執行部の下で)

・会場：龍谷大学、Zoom 併用予定

### 第 142 回理事会

・開催日時：2024 年 4 月 27 日 (土)

・会場：Zoom

### 第 143 回理事会 (旧理事会メンバー)

・開催日時：2024 年 6 月 1 日 (土) 12 時 20 分～12 時 50 分

・会場：龍谷大学、Zoom 併用予定

## 第 144 回理事会（新理事会メンバー）

- ・開催日時：2024 年 6 月 1 日（土）12 時 20 分～12 時 50 分
- ・会場：龍谷大学、Zoom 併用予定

## 8. 事務局からのお知らせ

### 2024 年度年会費納入のお願い

個人会員は 8,000 円/年（大学院生の会員は 5,000 円/年。ただし、大学院生の会員は、年度当初に在学証明書の提出が必要）、団体会員は 50,000 円/年です。2023 年度以前の年会費未納の会員の方は、未納分も含めて納入をお願いいたします。年会費未納の会員の方は、会報、学会誌の受領、大会・フォーラムへの参加、連携団体の会合出席等の会員サービスを受けられないことがありますので、ご注意ください。

### 口座番号は次のとおりです。

郵便局

郵便振替口座：00850-0-216663

加入者名：日本公共政策学会

他金融機関からのお振込の場合

ゆうちょ銀行

店番：089（店名：ゼロハチキュウ）

当座預金：0216663

加入者名：日本公共政策学会

### 会員名簿の取扱にご注意ください

会員の皆様におかれましては、過去の発行分の会員名簿は厳重に保管いただき、取扱にはくれぐれもご注意ください。



## 日本公共政策学会 会報 第76号

2024年4月10日発行

編集・発行

日本公共政策学会事務局

〒101-8301

東京都千代田区神田駿河台 1-1

明治大学経営学部公共経営学科 菊地端夫 研究室

学会メールアドレス: [jimukyoku@ppsa.jp](mailto:jimukyoku@ppsa.jp)

学会ウェブサイト: <http://www.ppsa.jp/>

郵便振替口座: 00850-0-216663 日本公共政策学会

**PPSAJ Newsletter No.76, April 2024**

*Copyright 2024 Public Policy Studies Association, Japan*